

田口佳史さんに問う 【徳川家康と貞観政要】



講師

東洋思想研究家
株式会社イメージプラン代表取締役会長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

古典の叢智を実践した徳川家康、座右の書を読む

徳川家康は、戦国の乱世を生き抜き260年におよぶ長期安定政権と成長経済の礎を築きました。

家康の「座右の書」は、唐の二代皇帝太宗の言行録『貞観政要』でした。『貞観政要』は、常に自己を律し続けた理想的君主と彼を支えた多彩な重臣達が、良き治世を目的に闊達な議論や果敢な行動を展開した記録です。

家康は『貞観政要』から何を学び、そして、実践したのでしょうか。本講座では、家康の生涯や功績を照らし合わせながら『貞観政要』を読むことで、良い経営と理想のリーダーのあり方を探ります。

田口 佳史

10/5月

18:30-21:00

武断政治から 文治政治への転換 1

馬上で天下を取った徳川家康は、武力・威圧ではなく、人格・教養による統治に転換しました。

『貞観政要』の根本に流れる世の中を転換させる要点と、現代の企業にとって安定成長の条件ともいえる文治統治のビジョンとその実現方法を学びます。

11/16月

18:30-21:00

ワンマンリーダー の誠め方 4

成果を出した名リーダーほど暴走もしがちです。特に率先垂範型リーダーは、安定期には組織崩壊の原因にもなりえます。家康はどのようにワンマンリーダーから脱皮したのでしょうか。『貞観政要』にリーダー自らの律し方、ワンマンリーダーの諫め方、その仕組みを探ります。

10/19月

18:30-21:00

名リーダーになる要点 2

太宗は初めから立派なリーダーであったわけではありません。常に学び、自己を律し続け、名君へと成長しました。将軍家康はその太宗からいかなる点を学んだのでしょうか。2人の名君から名リーダーの要点とその鍛錬方法を学びます。

11/30月

18:30-21:00

安定した社会の つくり方 5

持続可能な社会の実現に貢献することは企業の役割であり、企業の存続・発展のカギでもあります。安定した社会とは、どのような要素を持っているのでしょうか、それはどのように築くことができるのでしょうか。唐300年、江戸260年の長期安定社会に学びます。

11/2月

18:30-21:00

良い部下を育てる秘訣 3

家康は、徳川四天王や徳川十六神将などの名高い家臣に支えられました。それは家康が『貞観政要』に学んで、良い部下と悪い部下を見極め、良い部下へと効果的に育てたからです。組織の長期安定に欠かせない人選と育成の秘訣を探ります。

12/14月

18:30-21:00

名統治を 実現する戦略 6

なぜ太宗と家康は長期安定政権を成し得たのでしょうか。なぜ多くの政権が長続きせず、短期で終わるのか。その要点に迫ると、良い経営の条件が浮かびあがってきます。名統治を実現する戦略のあり方、古典の叢智を生かす方法を、家康が描き、実践した戦略から読み解きます。

『貞観政要』とは

唐の二代皇帝太宗は、300年にわたる長期政権の基盤を築いたことから「貞観の治」と評されています。『貞観政要』は、太宗と彼を補佐した重臣たち（魏徵、房玄齡、杜如晦、王珪など）の間で交わされた政治問答が主な内容です。『論語』『書経』など古典が豊富に引用され、教養による治世の実践例でもあります。

開催概要

日程	2020年 10/5、10/19、11/2、11/16、11/30、12/14（すべて月曜日）
回数	6回
時間	18:30-21:00(2.5時間)
定員	25名
開催形態	オンライン対応(詳細下記参照)
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	◎生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方 ◎中国古典の思想・考え方を経営、ビジネス、人生に役立てたい方

講師プロフィール

田口 佳史 (たぐち よしふみ)

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍中、25歳の時タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で『老子』と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十数年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。

企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万人を越える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論『タオ・マネジメント』を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。

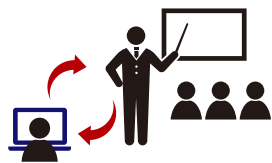
■主な著書

『ビジネスリーダーのための「貞観政要」講義』(光文社)
『孫子の至言』『老子の無言』『論語の一言』(光文社知恵の森文庫)
※慶應MCCで開催された講座の講義内容が書籍になりました(上記4冊)。
『佐久間象山に学ぶ大転換期の生き方』(致知出版社)
『横井小楠の人と思想』(致知出版社)
『「愉快な人生」を生きる』(サンマーク出版)
『なぜ今、世界のビジネスリーダーは東洋思想を学ぶのか』(文響社)

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、下記いずれかの方法での開講を予定しております。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる際のご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

オンライン対応



丸の内キャンパス、オンライン(Zoom) いずれでも参加可能です。今後の状況によりオンライン開催のみとなる場合があります。

オンラインのみ



今後の状況にかかわらず、オンライン(Zoom)のみで開催します。丸の内キャンパスでの開催はありません。

丸の内キャンパスのみ



丸の内キャンパスのみで開催します。今後の状況によっては日程の延期または開催を中止する場合があります。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をよろしくお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液と清浄綿の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気
- ・喫煙ルームの閉鎖

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合もございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。